

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	そば地産地消推進事業
事業主体 (連絡先)	大桑村 木曾郡大桑村大字長野 2778 番地
事業区分	(6) イ農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	4,149,040円 (うち支援金: 1,821,000円)

事業内容

そば栽培で農家の課題となっている刈取り、脱穀作業を軽減し、そばの作付けの増加を図り地産地消につなげるため、そば用コンバインを購入し、貸し出しを行った。

- ・コンバイン 1台
- ・必要オプション



【コンバインによる作業】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 平成28年度は村全体の収量が0.38tであったが、29年度のコンバインの導入により作付け農家が増加し、収量は1等が832.5kg、来季種子用が126kgとなった。コンバインの導入により来年度からは夏そばの栽培も可能となり、収量増加につなげられる。
- ② 平成28年度の栽培面積は0.96haであったが、29年度は2.08haと47.1%栽培面積が増え、耕作放棄地の減少につなげられた。

【目標・ねらい】

- ① 玄そば収量の増
- ② 栽培面積の増

※自己評価【A】

【理由】

・課題であった刈取りや脱穀をコンバインでできるようになり、そばの栽培に意欲的に取り組む農家が増えた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

コンバインの導入により課題となっていた刈取り、脱穀作業が軽減された。今後はコンバインの導入を農家へお知らせし栽培者を増やす。

また、夏そばの栽培にも取り組み収量の増加につなげ、村内にある手打ちそばを提供する店舗で地産地消できるよう取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある